

3 学期終業式

2020. 3. 19

本来であれば、例年であれば、今日は第3学期終業式のはずであった。誰がこのような事態を予想していただろうか。“見えない敵”と闘うのはこれが二度目になる。一度目は、見えないし臭いもない放射線というものであった。そして今回二度目はウイルスと呼ばれるものである。

梁川高校の生徒諸君は、一人一人どのような生活を送っているだろうか。学校に行けず、終業式もない現状をどのように受け止めているだろうか。校長としては、皆さん一人一人が元気で充実した生活を送っていることと期待はしているが、安心はしていない。できれば一人一人の顔を見たい。問題なく生活できているのかどうか確認をしたい。そんなことを考えていたところ、3月20日から3月31日までの対応について、以下のような連絡がきた。

○ 一斉臨時休業措置に伴って、部活動を行わないこととしておりますが、当面の間、登校しないことも含め、引き続き対応の継続をお願いします。

○ 生徒の健康観察、休業中の生活・学習等についての連絡・確認、新年度に向けた準備等を行うために、学校の実情に合わせて、1～2日程度の登校日を設けることができますものとしてます。よかった。これで皆さんに会える。皆さんが元気なのかどうか。学習は進んでいるのかどうか。学校に来てもらえればわかる。新年度へ向けての大切な連絡もできる。

梁川高校はたったの1日だが、登校日を設けることにした。それが、3月30日（月）である。この1日で、新年度へ向けての教室移動や梁川高校を去る先生方とお別れをする離任式などを行うことにした。体調がすぐれなかったり、特別な事情がない限り、学校に登校して元気な顔を見せてほしい。学校を去る先生方にきちんと最後のあいさつをしてほしい。

現時点では、4月からの令和2年度の教育活動は例年通り開始できるものと想定して準備を進めている。皆さんも、そのつもりで4月を迎えてほしい。だが、新型コロナウイルス感染の発生地域や人数、感染経路等によっては、対応が変わることもある。それは判断力を備えた高校生である皆さんならば理解できるであろう。そうならないように、我々は一人一人が感染防止に努めなければならない。今はそういう時期である。

では、第3学期終業式が行われていれば、皆さんの前でこんなお話をするはずであった内容を以下に記すこととする。

今年度は、平成31年から令和元年となった特別な1年でした。梁川高校が創立百周年を迎えた記念すべき年でもありました。皆さんにとってどんな1年だったのでしょうか。2年生は、1年生のときと比べてどうでしたか。1年生は自分がイメージしていた高校生活と比べてどうでしたか。

大事なことは後でわかることが多いのですが、15歳から18歳までの3年間は、かけがえのない期間です。この時間でしか経験できないことがたくさんあります。だからこそ、皆さんには充実した高校生活をこの梁川高校で送ってほしいのです。後から振り返ったときに、3年間の高校生活が、その後の自分を支えてくれていると思えるように。

梁川高校の先生方は、いつも皆さんのすぐそばにいます。それは、来年度、令和2年度も変わりません。4月8日（水）からまた新たな梁川高校の歴史をみんなで作っていきましょう。